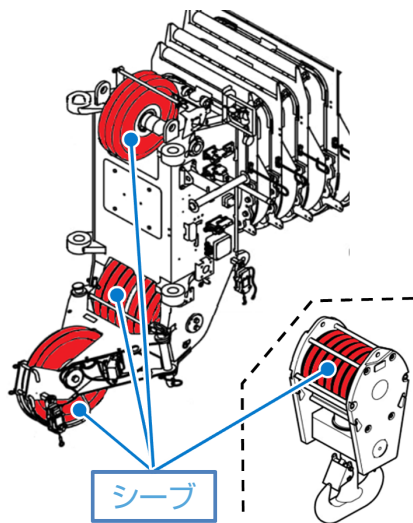


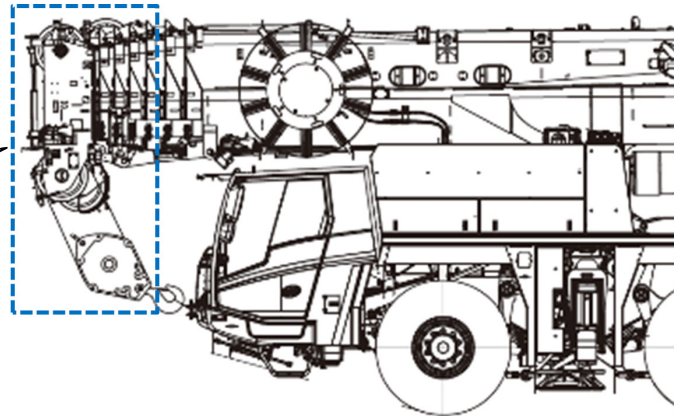
ウインチ用シーブの点検について

ウインチ用シーブやシーブのベアリングに異常があると、シーブが破損したりワイヤロープが損傷するなどして重大事故（つり荷等の落下）が発生するおそれがあります。作業前点検および定期点検時にシーブおよびベアリングの状態を点検してください。

■点検箇所

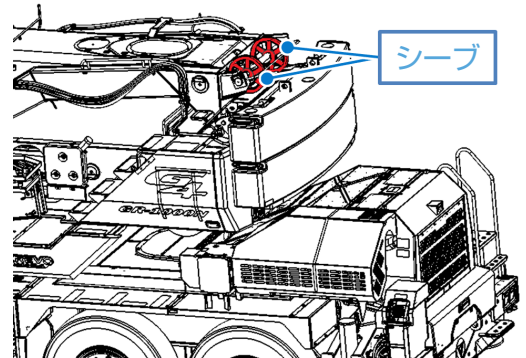
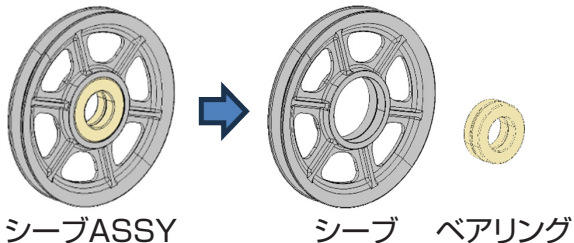


[イラストはATF-220N-5.1]

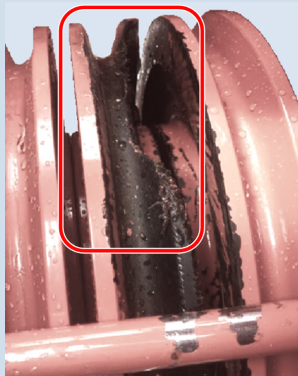
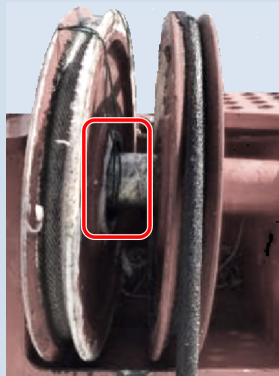
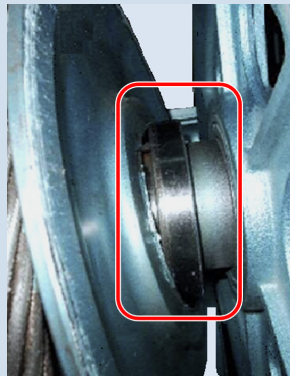


[イラストはGR-1000N-1]

シーブASSYの構成

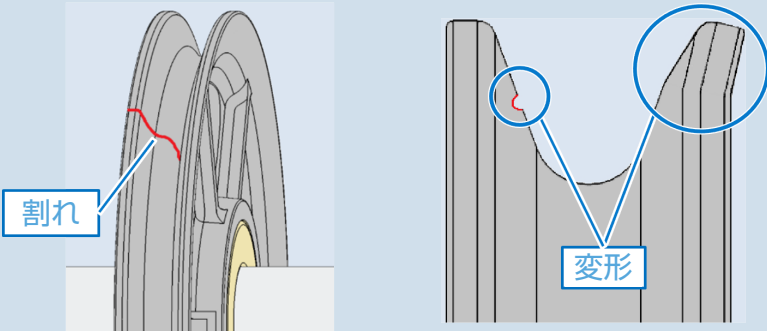
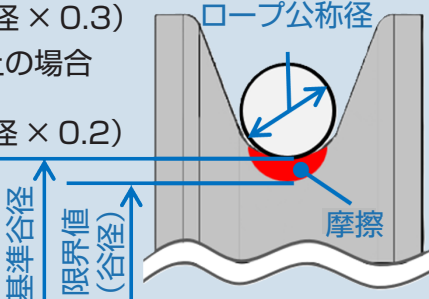
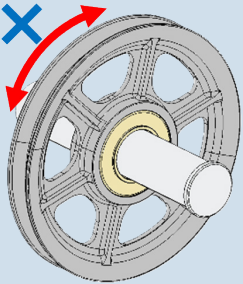
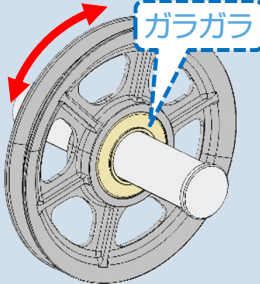
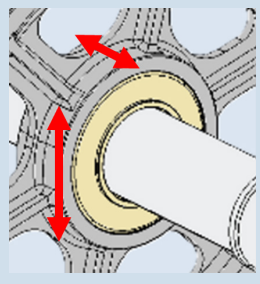
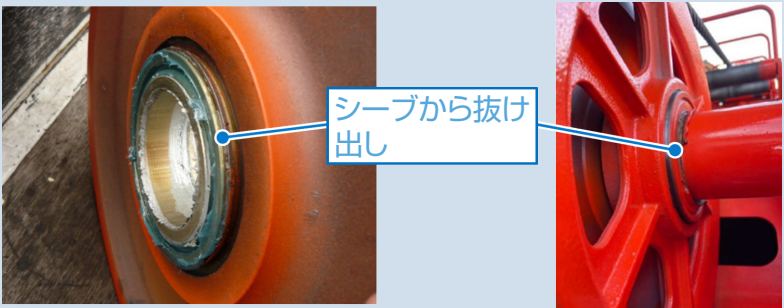


■シーブの損傷事例

シーブの破損	ベアリング回転不良による損傷	ベアリングの抜け
		

■点検について

シーブおよびベアリングの点検を行い、以下の異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、タダノ指定サービス工場に連絡して交換をしてください。

異常の状態	参考		
シーブの損傷(割れ・変形)			
シーブ溝の著しい摩耗	使用ロープ径が25 mm未満の場合 限界値(谷径): 基準谷径 - (ロープ公称径 × 0.3) 使用ロープ径が25 mm以上の場合 限界値(谷径): 基準谷径 - (ロープ公称径 × 0.2) 		
ベアリングの異常	スムーズに回転しない	回転時に異音がする	ガタが大きい
			
ベアリングのずれ			

※シーブASSY(ベアリング含む)の交換目安は4年もしくは5年です。なお、異常が見られた場合は交換時期に関わらず交換してください。

※点検時期およびメンテナンスについては、クレーンに付属している取扱説明書およびメンテナンスノートを参照してください。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成